

「加速器」

Vol.2, No.1

(2005. 4. 30 発行)



表紙写真の説明

極紫外・軟X線放射光源施設の完成イメージと施設平面図。極紫外・軟X線領域の高輝度放射光が利用できる専用施設は、基礎科学の発展だけでなくわが国の科学技術の向上にも大きな役割を果たすと期待される。

柿崎明人
(東京大学物性研究所)

- 巻頭言——平尾 泰男 1
- 特集 (日本の加速器の歴史)
 - INS-ES から KEK-PS の誕生 (II)——木村 嘉孝 2
- 解説
 - コヒーレント放射光——高橋 俊晴 11
 - 日本における加速器の現状 (その2)——田川 精一 20
- 専門論文
 - 円形加速器の高次ディスバージョンとクロマティシティの
ハミルトン形式による摂動計算——高雄 勝 25
 - レーザー航跡場加速による準単色電子線発生について
—— S. V. Bulanov, 田島 俊樹 35
- 話題
 - 物性物理からみた加速器——柿崎 明人 42
 - 原研エネルギー回収型線型加速器 (ERL)
自由電子レーザー (FEL) の開発——峰原 英介 48
 - タイ放射光実験施設の建設——石井武比古 54
 - 第17回サイクロトロンとその応用に関する国際会議
(Cyclotrons 2004)——後藤 彰 58
 - 100 MWパルスクライストロン
—— 米澤 宏, 三宅 節雄, 大久保良久 63
- 後継者育成
 - KEK による技術者育成システムとその一考察——氏家 宣彦 71
- 歴史シリーズ
 - 日本加速器外史 (その3) ——井上 信 84
- 大型加速器と小型加速器
 - 小型装置への要望——上坂 充 93
 - 大学の放射線・加速器施設の現状
—大阪府立大学からの報告— ——奥田 修一 96
- 加速器と社会
 - 電子加速器の照射利用——相川 安之 99
- 国際協力
 - 「日米協力」—私的追想— ——真木 晶弘 102
 - アジアでの研究交流—現場からの報告— ——川島 祥孝 109
- 掲示板——117